



## 全国の仲間とともに、同じ道を歩む



安倍政権の暴走が止まらない。闇雲くもくもに日本を「戦争の  
できる国」にしたてあげようとしている。何とかならな  
いかと毎日歯がゆい思いで過ごしているが、それでも日  
常生活は変わらずそこに在る。仕事に忙殺される日常生  
活だ。気がつけば休憩休息も満足にとれず、出勤すれば  
残業がついてくる日々に、身体はへとへと頭は朦朧もろろ、労  
働者としての誇りをずたずたにされた挙句、ミスを連発  
していた。そんな状況になっても、「自分が悪い、能力が  
ないからだ」と思わされていた。真の原因はそうではな  
く、この状況を作り出している当局の方こそ追及しなけ  
ればならないことを学んできたはずなのに。

定例になっていた第一学習会も1回開催できず、2カ

月ぶりの学習会で、「自分たちにはこうして自由なもの  
いえる場があるけれど、そうでない人はつらいだろう」  
と発言した会員がいた。まさしくその通り、職場の中で  
自由にものがいえる雰囲気はなくなりつつある。「あと何  
年働き続けられるのか」という声も、何度となく聞いた。  
そして40代、50代前半で退職していく同僚たちも・・  
かつての全通婦人部のスローガン「定年まで元気に働  
き続け、退職後も元気で生き続ける」これがいまや自分  
の中で遠くなっている。もう一人の自分作り、第一学習  
会の強化なしには実現できない。容易ではないが、小さ  
なことを継続していくしかない。全国の仲間とともに同  
じ道を歩むために。

『月刊まなぶ』企画編集委員 竹内 依子